

Mt.kogashi

NPO法人古賀志山を守ろう会
会報誌第17号 発行人池田正夫
発行日 令和元年12月10日

事務局 〒320-0811

宇都宮市大通り 2-4-18

NPO法人古賀志山を守ろう会

HP <https://npo-mt-kogashi.jimdo.com>

Email npo.mt.kogashi@gmail.com

I 水場付近の梯子階段設置・木橋改修

台風19号により北コースの通称膳棚沢が氾濫、水場付近に架かっていた木橋は流失し渡渉に支障を来していた。また、その上部の滑り易い岩肌も危険箇所であったため、安全確保の観点から木橋を改修し、梯子階段も設置した。



梯子階段の材料は宇都宮森林組合から購入し設置した。また、流失した従来の丸太橋は、下流から運び上げ、橋桁を付けて改修した。
令和元年9月12日

II 中尾根の整備進む (1) 登山道整備



令和元年11月14日



国有林中尾根の貸与申請が認可されたため市職員立会いのもと、看板(写真上)を設置した。

中尾根3番岩鞍部への登山道途中に梯子階段(写真左)を設置した。安全に上り下りが容易になった。

(2) 国有林中尾根登山道に杭 30 箇所打込み



上掲の地図上、朱線の部分（三番岩入口～富士見峠）が国有林中尾根に貸与認可が下りた登山道である。宇都宮市職員立会いの元、朱線上の 30 箇所に杭柱（黒の支柱、先端赤）の打込み作業を行った。

(3) 中尾根 カタクリ群生地登山道に階段設置始まる。



材料追加購入、皮むき、切断
令和元年 11 月 14 日



階段設置作業
令和元年 10 月 24 日、



11月23日

カタクリ群生地の北側は、ローム層の滑り易い斜面で、階段設置が長い間の懸案となっていた。

材料は宇都宮森林組合寄贈の木材を切断、皮むきをして備蓄していた。更に不足分を追加購入して切断、皮むき、荷上げ作業を行い階段整備に取り掛かった。

Ⅲ P540 北斜面に補助用鎖を設置



北主稜線のP540付近の北斜面は滑り易い急斜面があり下りに要注意の個所であった。

宇都宮県立自然公園内に工作物を設置する場合は栃木県立自然公園条例により許認可制である。当会は、法令順守の観点から、民有林地主の同意書をいただき宇都宮市の「みどりのまちづくり課」に届出書を提出し、工作物を設置している。

令和元年10月10日(木)

Ⅳ 倒木伐採作業



北主稜線猪倉峠の付近は、前年の台風24,25号により甚大な倒木被害を受けた。倒木が林道を塞ぎ、通行不能の状態のまま放置されていた。倒木伐採作業を行い、通行が可能になった。

令和元年10月10日 手岡峠付近

令和元年10月24日 長倉山付近

付記 訃報

当会員 村田進氏ご逝去(令和元年11月11日)。前年まで活動に参加していただいた業績を偲び慎んで哀悼の意を表します。尚、弔電にて弔意を表した。